

| | |
|----|----|
| 学年 | 6年 |
|----|----|

| | 課題分析 | 授業改善策 | 改善状況 |
|------|---|--|------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続して行っている朝学習や宿題での取組の効果はあると感じるが、漢字の習得が足りない児童が複数名いる。 ・自分の考えや気持ちを文章に書くことに苦手を感じる児童もいる。これは他の学習でも必要となるため、授業の中で練習していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き朝学習や宿題での漢字の取り組みは続け、日常的に正しく漢字を用いて文章を書くよう促す。(国語の学習に限らず) ・初発の感想や学習感想など、様々な授業の中で文章を書く場面を設定する。苦手な児童には気持ちや感情を表す言葉や、感想の書き方のパターンなどを教えて練習する。 | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・政治分野、特に歴史分野に対する関心・意欲が高く、用語や事象についての知識を持っている児童も多い。 ・知識だけにとどまり、そこから学習が深まっていない児童が複数見られる。 ・事象を理解するだけでなく、複数の資料を関連付けて比較・総合・関連させて、より深く思考させる力を付けさせる必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを明確に示し、児童に何を調べるのかを意識させる。そのうえで教科書及び資料集に掲載されている資料（絵、写真、地図、グラフ、年表など）を十分かつ効果的に活用して、調べ学習を行わせる。 ・「調べて終わり」にならないように、めあてに立ち返って、振り返りやまとめを自力で書かせることで、思考力の育成を目指す。 | |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・3学級5展開の少人数習熟度別指導の継続により、「知識・技能」の育成について一定の成果が見られる。 ・伴って変わる数量や関係に着目し、式や数直線を用いて考察する力を養う学習活動を行う必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力を育成するため、図や表、式などを用いて考えたり、自分の考えを友達と説明し合ったりする活動を多く設けるようにする。 ・学習の成果を振り返らせ、よりよく問題解決できたことを実感する機会を設けるようにする。 | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題、予想、実験、考察、結論の流れは定着している。 ・実験の結果から法則性を導き出すことが難しく、考察を書くのに苦戦する児童が多く見受けられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・考察をどのように書いたらいいのか分からないという児童が多いため、実験をする必要性や実験の仮説なども考えさせるなど見通しをもってから実験を行うようにする。 | |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人練習では、意欲的に活動しているが、全体の場面になると場に合わない発言や行動をとってしまう児童もいる。 ・演奏することに満足して、表現を深める活動までは至っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって活動ができるよう具体的な計画や決まりを児童に提示していく。 ・ペアや少人数グループの活動を増やし、互いを認め合い自信をもって発表できる場면을意図的に作っていく。 | |
| 図画工作 | <ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って活動できているが、課題意識の希薄な児童や、自己判断で活動する児童など、様々なタイプが混在している。 ・理解力や表現の上で周囲と差があり取り組めない児童について個別に指導する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの作品にじっくり取り組む姿勢を培う。 ・お互いの作品を見合う機会を取り入れそれぞれの感じ方や表し方を認め合い表現の幅を広げる。 | |

| | | | |
|-----|---|---|--|
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に取り組んだマスク作りの活動では、多くの児童が意欲的に取り組めた。 ・基礎的な玉結び・玉留めなどが定着していない児童もいる。今後も継続した指導が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に取り組む際、これまでの知識や技能の確認をしながら進める。 ・児童の理解を深めるために体験学習を入れながら、楽しく知識を得られるようにする。 | |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組み、約束を守って運動する児童が多い。 ・運動を苦手と感じている児童が見られることから、個々の児童の運動経験や技能の程度などに応じた指導や活動を行えるように工夫する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動についての自己の課題を見付け、その解決のための方法や活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図る。 ・児童同士が筋道を立てて練習や作戦について話し合う活動を取り入れ、コミュニケーション能力のさらなる向上について促していく。 | |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な単語の練習や、英語を用いたゲームには楽しんで意欲的に取り組む児童が多い。 ・書くことや英語での発表に苦手意識をもつ児童も少なくない。 ・外国語の学習経験が少ないことが原因として考えられるので、児童が安心して活動に取り組めるように授業内容を工夫する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを一定にし、その中でできるだけ書く活動を取り入れるようにしていく。 ・苦手意識を持たせないように、手本を示したり、絵辞書を活用したりする。 ・発表に関しては、①原稿を作る②練習する③発表する流れを授業に組み入れ、児童が自信をもって発表に臨めるようにしていく。 | |